

## 世田谷線のバリアフリー化を推進します

車両・ホームの改良工事によりノンステップ化。併せてホームへのスロープ設置

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄(本社:東京都渋谷区、社長:清水 仁)では、2001年2月11日(日)から、世田谷線の車両・ホームを改良するとともに、ホームへのスロープを設置し、バリアフリー化を推進します。

今回の世田谷線の改良工事では、旧形式車両に代えて順次導入してきた新形式の300系車両の車内乗降ステップを解消し、さらにホームのかさ上げを行うことで、車両床面とホームのノンステップ化を図ります(2月11日初電から全て300系車両を運用)。また併せてホームへのスロープを設置することによってスムーズな乗降が可能となり、世田谷線のバリアフリー化を図ります。

当社は、お客様により快適にご利用していただくために、2000年4月から世田谷線の車両・施設の更新工事を進めており、今回の改良工事はその一環です。今後は本年夏までに仮設のホーム面やスロープ部の本設化と、雨天時の円滑な乗降のためにホーム屋根の全面設置などを進めていく予定です。

当社では、体の不自由なお客様や高齢のお客様にも鉄道を気軽に利用していただくため、今回の世田谷線のノンステップ化のほか、他の鉄道施設でもエレベーターやエスカレーターを設置するなど、バリアフリー化に積極的に取り組んでいます。

世田谷線の車両・ホーム改良工事によるノンステップ化の概要は次のとおりです。

### 世田谷線の車両・ホーム改良工事によるノンステップ化の概要

- |              |  |
|--------------|--|
| 1. 工 事 内 容   | (1)車両内乗降ステップ解消工事(6編成12両)<br>※今後導入予定の4編成8両はノンステップ化対応<br>計10編成20両をノンステップ化<br>(2)ホームかさ上げ工事(世田谷線全10駅)<br>(3)ホームへのスロープ設置工事(           "           ) |
| 2. ノンステップ化実施 | 2001年2月11日(日) 初電から<br>※雪など当日の気象状況などにより、<br>12日(月)、13日(火)に順延することもあります   |

以 上

## (参考)

### 1. 世田谷線設備更新工事の概要

当社では世田谷線のバリアフリー化を図るため2000年4月から本年夏まで、下記の設備更新工事を順次行っています

#### (1)車両更新および1編成(2両)増備

①旧形式車両9編成(18両)を新形式300系車両に更新

※6編成12両更新済み(2001年1月末現在)

②柔軟な車両運用を可能にするため、300系車両1編成(2両)を増備する

③車内の乗降ステップを解消する(今回実施)

#### (2)ホーム改良

①車内のステップ解消に合わせ、ホームをかさ上げする(今回実施)

②各駅各ホームへのスロープを設置する(今回実施)

③雨天時における円滑な乗降を実現するため、各駅のホーム屋根を増改築する

(3)工 期 2000年4月～2001年夏

(4)工 事 費 車両更新・増備 約22億円  
ホーム改良 約8億円

### 2. 世田谷線の沿革

世田谷線は当社唯一の軌道線(路面電車)です。以前は旧・玉川線(通称:玉電)の一部でしたが、1969年5月、同線の渋谷～二子玉川園間が廃止された際、三軒茶屋～下高井戸間が独立して残り、名称も世田谷線となりました

#### 【世田谷線開通年月日】

1925年1月18日 三軒茶屋～世田谷間開通

〃 年5月 1日 世田谷～下高井戸間開通

以 上